

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



出力制御

太陽光や風力の再生可能エネルギーで創った電気を一時的に止める事。発電量と使用量のバランスが崩れると、周波数が乱れて大停電を起こす恐れがあるために行われますが、その背景には、送電網整備の遅れや、蓄電電池のコストといった問題があります。国や大手電力は2050年までに最大7兆円を投じて送電網を強化する方針ですが先の長い話です。ちなみに今年東京や関西でも需要が急激に落ちた場合などを想定し出力制御をする可能性を公表しました。ご存知でしたか。



水平リサイクル

耳慣れない言葉ですが、大手日用品メーカー間で取り組みが広がっています。この「水平リサイクル」とは、使用済みの製品を同じ製品にリサイクルするというもので、例えば洗濯用洗剤の詰め替え用パックを回収し、独自技術を用いて、元と同じ品質の詰め替え用パックにする。使用済み紙おむつも、殺菌や脱臭などのほか、吸収材の水分を取り除く技術を開発し、ごみの分別の仕組みと組み合わせることで水平リサイクルを実現。このように、使用済みの製品を同じ製品にリサイクルするという事なのですが、皆さんの周りにある「水平リサイクル品」をみつけてみてはいかがでしょうか。

ひとこと



今年もこのサブリ村野の事務所の窓からは田植えの終わった水田が広がっているのを見ることができます。水田を渡ってくる風は涼やかでとても気持ちがいいものです。アスファルトで覆われコンクリートの壁に覆われたところに吹く風はと言うと、涼やかで気持ちがいいとはとても言えないと思うのですが皆さんは如何ですか。水田は自然のクーラーであり、天然のダムでもあると言われています。温暖化が加速している今、これ以上水田が、自然が減らない様対策を望んでいるのですが…。

子

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第78号

令和5年7月1日発行（年4回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号
サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：井上 浩一 編集責任者：丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 78
夏号
令和5年
(2023年)

環境ひらかた



令和5年度 通常総会を開催しました



去る6月4日、令和5年度の通常総会をサブリ村野2階環境保全研修室にて開催しました。昨年度までは新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため、出来るだけ委任状又は議決権行使書での参加をお願いしていましたが、久しぶりに会場に足を運んでくださいと呼びかけ対面で開催しました。残念ながら参加者は20名と少なめでしたが、総会後の久しぶりの交流会も楽しく終えることができました。（P2に関連記事）

<会員拡大キャンペーン開催中>

エコノート参加者及びリユースコーナー利用者に朗報です。会員登録するとお得な特典があります。（詳細はP6に）

<お詫び>

春号の環境ミニ知識のコーナーのクイズの答えが記載されていませんでした。お詫びいたします。答えは「ダウンサイクル」でした。

****目次****

令和5年度通常総会を開催しました	P1
2023年度事業	P2・3
部会報告	P4・5
お知らせコーナー	P6
環境トピック VOL.44	P7
環境ミニ知識	P8

今年度も引き続き様々な活動を展開します

令和5年度の総会で今年度の事業計画が全員一致で承認されました。承認された事業は大きく11事業あります。それらの事業について概要をご紹介します。それぞれの詳しい内容は議案書をご覧ください。議案書は事務局で入手いただけます。

地球温暖化対策事業

地球温暖化対策に向けた取り組みについて話し合い、「我が家のエコノート」や「エコ宣言」「ごみ減量の推進」「CO₂排出削減」等の取り組みを進めます。

まちづくり推進事業

枚方市内のまち歩きなどを通して、枚方の環境を知り、未来に向けての歴史・文化遺産の在り方を考えていきます。

モビリティ・マネジメント事業

市民の移動手段を継続的に確保すると共に、二酸化炭素の排出削減を目的に、公共交通の利用促進に取り組みます。「バス!のってスタンプラリー」の開催や、交通タウンマップの作製配布を行います。



環境講座開催事業

再生可能エネルギーの利用促進・啓発のための「自然エネルギー学校」、環境意識啓発を目的とした「環境スターター講座」や「くらわんか塾」を開講します。



人材育成事業

30年後の社会の主要担い手となる学生を、インターン生として受け入れ、環境に関わる社会課題の解決に向け、共に考え、行動できるようになってもらうため働きかけ指導を行います。

中間支援事業

環境団体や、個人の環境の取り組み支援として、エコキャップ等の回収支援や活動のためのチラシ・リーフレット等の作成のお手伝いを行います。

環境教育推進事業

環境保全推進のためには教育が重要であるとの思いで、環境教育出前授業に引き続き取り組んでいきます。そのためのツールやプログラムも常に改良・開発を行っていきます。



環境トピックス Vol.44

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。

今回は、「G7 広島サミット 気候・エネルギー・環境大臣会合で合意されたことは?」「国内初 SAF の大規模生産施設が大阪堺に!」の問題です。

◆G7 広島サミット 気候・エネルギー・環境大臣会合で合意されたことは?

2023年5月19日から21日までの3日間、広島で「G7 広島サミット」が開催されたことは記憶に新しいところですが、それに伴い4月15日、16日には札幌市で「気候・エネルギー・環境大臣会合」が開かれたのですがご存知でしたか? その会合で合意された事項は次の2項目でした。

- * G7として初めて「天然ガスも含めた化石燃料の段階的廃止」
- * 「2040年までに新たなプラスチックごみの海洋流出ゼロ」

化石燃料の段階的廃止についての交渉過程では、ドイツやフランスなどから「石炭火力の全廃時期を明記すべし」との意見が出されました。しかし、2030年度時点での石炭火力発電が19%の計画の日本の抵抗で時期は明記されませんでした。

議長国である日本の姿勢が問われたことは言うまでもありません。対策が急がれているカーボンオフにもかかわらず、「対策強化に後ろ向きな日本」という印象が世界に持たれたことは想像に難くありません。

◆国内初 SAF の大規模生産施設が大阪堺に!

“SAF (持続可能な航空燃料)”と呼ばれるものが今注目されています。この SAF (Sustainable Aviation Fuel) というものをご存知の方もいるかと思いますが、SAFとは廃棄物や使用済み食用油、植物などから生産されるもので、従来の燃料と比べて、二酸化炭素の排出量を80%程度抑えられるとされています。

その「SAF」の大規模生産施設が大阪堺に建設されることとなり、今年5月16日起工式が開かれ、2025年の稼働を見込んでいるとのことですが、SAFの原料の一つ、使用済み食用油の争奪戦とも言える状況が起きているのです。その背景にはいち早くSAFの製造に乗り出したヨーロッパなどで、使用済みの油への需要が高まっていることがあると、業界団体の全国油脂事業協同組合連合会は分析しています。

実際、海外では既に一部の路線で使用されていて、日本政府は2030年までに航空機の燃料の1割をSAFに置き換える目標を掲げています。果たして私たちの家庭から出る使用済みのてんぷら油で飛行機が飛ぶ日が来るのでしょうか。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

◆◆◆エコキャップの回収報告◆◆◆

●エコキャップ R5年3月22日搬入分

重量：300kg (取組開始からの累計 8,721.8 kg)
 個数：129,000個 (取組開始からの累計 3,750,374個)
 CO₂削減量：945kg (取組開始からの累計 27,473.67kg)



エコキャップの取り組みを通して、環境問題に関心を持ち行動するきっかけとなることを願っています

搬入したエコキャップは、再生プラスチック原料として換金され、公益社団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンに寄付され、全国で病気の子供とその家族が利用できる滞施設の建設費及び運営に充てられます。詳しくは公益社団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンのH・Pをご覧ください。

エコノート取り組んでいる方・取り組まれる方にお知らせ

<6月からエコノートのポイント交換率が変わりました。>

例：レンジ米5キロ=50ポイントから60ポイントに、レンジ用ご飯パックは20ポイントで3パックが2パックに等々。詳細はエコノート改訂版をご覧ください。

<会員になると会員加算ポイントが付くようになりました。>

既にエコノートに取り組んでおられる方が、会員になられると下記の通り会員加算ポイントが付きます。併せて入会記念ポイントとして5ポイントを進呈します。

賛助会員になった場合・・・1割アップ

正会員になった場合・・・2割アップ

<新たに始められる人にはスターターポイントを！>

新にエコノートに取り組まれる場合は、スターターポイントとして5ポイント進呈します。また同時に会員登録していただくとさらに5ポイント進呈します。

会員特典!リユースコーナーの内覧会に

エコノートの参加者には、会員になって頂くと上記のようにお得がいっぱいですが、リユースコーナーも会員さん向けにお得な取り組みをスタートします。

リユースコーナーは秋冬物から春夏物へ、春夏物から秋冬物へと年2回棚替えを行います。そこで会員の方向けに「内覧会」というのは大仰ですが、棚替えをする前に選んでいただける機会を設けます。棚替えをしたら素敵なものからすぐになくなってしまいますので、なくなる前に会員の方に選んでいただける場を提供します。

ひらかたエコフォーラム開催事業

ひろく市民の方々に、楽しみながら環境に関心をもってもらうため、環境クイズや自転車発電などの体験、そして環境に関する情報発信などを行います。併せて他団体や事業者、会員全体交流の機会にも活用します。更に環境表彰など各種表彰も行います。開催は枚方市との共催を予定しています。



広報事業

団体の活動を知ってもらうと共に、環境に関する様々な情報を届けるため、年4回の会報誌を発行しています。またH・Pでは随時活動をアップするとともに、SNSも割譲し広報に努めています

環境情報コーナーの管理運営業務受託事業

枚方市の委託事業として「枚方市環境情報コーナー」の管理等運営を行います。環境情報コーナー開設から8年が経過し、環境講座開催や各種事業の受付、リユースコーナーの開設により、利用を伸ばしてきましたが、さらに多くの市民に情報コーナーを知ってもらい活用いただけるよう情報発信や内容の充実を図っていきます。

総会及び会員交流会等開催事業

5月に通常総会を開催します。総会は行ってきた事業、そして行おうとする事業について、出来るだけ多くの会員さんに出席していただき、みんなでしっかりと確認しあいたいと思っています。また交流会は団体にとって、会員意識の向上と団体としての組織強化のためにも重要と考え、交流会も開催します。



11の事業の概要をご紹介しましたが、それぞれの事業の具体的な取り組みについてご存知ですか。枚方市の広報や、環境ネットワーク会議が発行しているチラシ、H・P等をご覧ください。ぜひご参加ください。既にいろいろな取り組みがスタートしています。ミニ講座、環境ティールーム、マイゴーヤ、等々

皆様のご参加をお待ちしています。



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会

～児童の目線で新たな環境教育メニュー開発に挑戦～

環境教育部会では「子供たちの未来のために自分たちに出来ること」を旗印に、枚方市が発行している環境副読本「わたしたちの暮らしと環境」を基本に「地球温暖化」「エネルギー」「資源循環」「自然との共生」などをテーマに45分と言う限られた授業時間の中で出前授業を行っています。出前授業の醍醐味は子どもたちの目線で、分かりやすく、体験も交え、心に残る環境授業ができたかどうかというところにあります。今年度は4月に枚方市全小学校(44校)に環境出前授業の案内状とプログラムメニュー冊子を配布した甲斐もあって、5月18日に蹉跎小学校で「環境問題と電気エネルギーを学ぼう!」、また、6月12日に蹉跎西小学校で「ペットボトルから使い捨て問題を考えよう!」のテーマで環境出前授業を行いました。



現在の部会員は、現役時代に培った環境の専門知識や物づくりの経験を活かし、環境教材の制作やメンテナンスできる方、学校の先生の経験者、環境問題を児童の目線で理解しやすい言葉や表現を提言できる方など、総合力を活かしメニュー開発と改善をしています。

因みに蹉跎西小学校では「学校支援社会人等指導者支援事業」の制度を以前からクラブ活動の時間で活用されており、今年もエコクラブの部活として年間8回の環境出前授業の依頼があり、当部会にとっては継続的な環境啓発活動の励みになっています。環境出前授業に興味を持たれた方、この機会に環境出前授業のプログラム冊子やサポーター募集の案内(いずれも右のQRコードで閲覧していただけます)も見てください、ご自身の生涯学習や社会貢献の一助として頂ければ幸いです。お気軽にサプリ村野の環境情報コーナ事務所にお立ち寄りください♪



環境出前授業サポーター募集案内



プログラムメニュー冊子

公共交通部会

「バス!のってスタンプラリー」 今年はコロナ禍前のスタイルで開催!!

コロナ禍で一堂に集まったの開催ができなかったこの3年間!お待たせしました。今年はやります。開催予定日は9月30日です。詳細は次号で!どうぞお楽しみに♪♪

自然エネルギー部会

下のチラシ(案)をご覧ください。自然エネルギー部会ではこうしたチラシを五六市会場などで市民の皆さんにお配りし、働きかけを行い、みんなで一緒に環境問題について考えていきたいと考えています。その第一弾がこのチラシ(案)です。この会報誌を目にさせていただいている方もぜひ一緒に考えましょう

「自然エネルギー導入や温暖化防止対策など」 日本や枚方市はどうなってるの?

現状を知り、私達ができることを
一緒になって考えてみませんか?



<最近の出来事>

先日の「G7気候・エネルギー・環境相会合」の共同声明で、欧米が強く求める「石炭火力発電の廃止時期の設定」について、議長国(日本)が受け入れなかったため盛り込められず「石炭などの化石燃料の段階的廃止」での合意となりました。

これって、どういう事?!

<どうなってるの? 日本のエネルギー政策>

- ① 日本は「2050年のカーボンニュートラル」に向けて「2030年におけるエネルギー基本計画(6次)」を決めています。
- ② この基本計画の中で、「2030年における再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス)による発電を約38%(2019年時点では約18%)にします」と示しています。
- ③ でもね!! 一方で「石炭火力発電は約20%」にするとも言っているのですよね・・・
そうなんです!日本は2030年においても「石炭火力に依存する」としているから廃止時期の設定については受け入れられなかったのですね!

これで良いのかなぁ〜